

第75期  
中間報告書

(平成22年3月1日から  
平成22年8月31日まで)

岡谷鋼機株式会社

証券コード 7485

# 株主の皆様へ

---

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、まことにありがとうございます。

当社第75期上半期(第2四半期連結累計期間：平成22年3月1日から平成22年8月31日まで)  
を終了いたしましたので、ここに営業の概況等をご報告申し上げます。

平成22年10月

取締役社長

岡谷篤一



# 営業の概況

## 営業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間においては、アジア諸国を中心とする新興国の需要が好調に推移し、世界経済は緩やかな回復を続けました。しかしながら、欧州諸国の財政問題に関する懸念が高まり、商品価格や株価が下落したこともあり、回復ペースは鈍化しました。エコカー減税や家電のエコポイントによる消費刺激効果、そして電子部品等の輸出が下支えとなり、生産の持ち直し傾向が続きましたが、個人消費は力強さに欠け、景気回復は緩やかなものにとどまりました。円高が進んできたことも先行きの不安材料となっています。

このような状況下にあって、当第2四半期連結累計期間における売上高は情報・電機及び産業資材事業において大幅に増加し、3,218億84百万円で前年同期比17.0%の増収となりました。

損益につきましては、売上総利益が210億60百万円（前年同期比28.3%増）、営業利益が41億39百万円、経常利益が51億57百万円となりました。また、当四半期純利益は28億84百万円となりました。

中間配当金につきましては、1株あたり11円とし、支払開始日を10月29日とさせていただきます。

なお、6月に、当社子会社の六合エレメック株式会社は、電気・電子機器を販売する100%子会社「上海洛庫高電子有限公司」を設立しました。

7月には、米国岡谷鋼機株式会社本社をニュージャージー州からシカゴに移転しました。

また、当社は、2月に発生したチリ大地震や4月に発生した中国青海省地震への義援金を寄付するなど、社会貢献活動にも積極的に取り組んでおります。

## 通期（平成22年度）の見通し

通期の業績見通しにつきましては、今後の景気の先行きなど不確かな要素も多いなか、売上高は6,300億円を予想しております。

経常利益は60億円、当期純利益は30億円を予想しております。

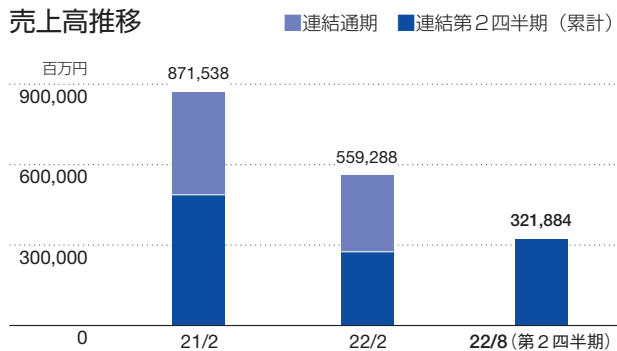
株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 主要事業の概況（連結ベース）

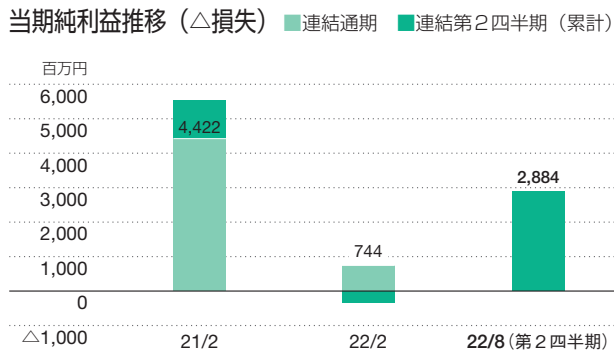
セグメント	主要取扱品目・サービス	売上高構成比
<p><b>鉄鋼</b></p> <p>普通鋼・特殊鋼とも自動車、建機・産機などの製造業向けは順調に推移しましたが建設・土木向けは公共、民間共に低迷しました。またタイ、シンガポール、ベトナムなどの東南アジア向け輸出が大幅に増加しました。</p> <p>鉄鋼部門全体では、売上高は前年同期比3.8%増収の1,423億28百万円となりました。</p>	<p>鉄屑、棒鋼、鋼矢板、H型鋼、鋼板、鋼管、機械構造用炭素鋼、合金鋼、軸受鋼、工具鋼、ステンレス鋼 他</p>	<p>A pie chart with a blue slice representing 44.2% of the total sales for the Iron and Steel segment. The rest of the chart is grey.</p>
<p><b>情報・電機</b></p> <p>非鉄金属分野では、世界各国における自動車関連及び家電製品の需要が拡大し、メタル相場の底上げもあり大幅な増収となりました。エレクトロニクス分野でも電子部品が売上拡大、また、今夏の酷暑によるエアコン向け半導体も増加しました。更にグループ会社として六合エレメック株式会社が新たに加わったこともあり、大幅な増収となりました。</p> <p>情報・電機部門全体では、売上高は前年同期比55.2%増収の722億41百万円となりました。</p>	<p>銅・アルミ、レアアース、電子部材、汎用電機品、映像機器、半導体・周辺電子部品、ソフトウェア開発・販売 他</p>	<p>A pie chart with a green slice representing 22.4% of the total sales for the Information &amp; Electrical segment. The rest of the chart is grey.</p>
<p><b>産業資材</b></p> <p>メカトロ分野では、自動車をはじめ製造業の生産が回復し、部品・工具の売上が順調に推移しました。化成品分野でも、国内外の自動車向けの売上が拡大しました。</p> <p>産業資材部門全体では、売上高は前年同期比27.9%増収の788億20百万円となりました。</p>	<p>工作機械、工具、産業用ロボット、自動車部品、合成樹脂原料、樹脂成形品、環境・リサイクル対応設備、半導体・電子関連設備機器 他</p>	<p>A pie chart with a purple slice representing 24.5% of the total sales for the Industrial Materials segment. The rest of the chart is grey.</p>
<p><b>生活産業</b></p> <p>配管住設分野では、工事案件の落ち込みにより、市販・直需共に減少しました。建設分野では、マンション・戸建共に減少し、ビル付帯設備工事も低調に推移しました。食品分野では、水産物・加工食品の輸入が増加しました。</p> <p>生活産業部門全体では、売上高は前年同期比4.2%減収の284億94百万円となりました。</p>	<p>配管資材、住設機器、住宅用資材、不動産開発、分譲マンション、水産物、畜産物、倉庫業 他</p>	<p>A pie chart with a red slice representing 18.9% of the total sales for the Life Industry segment. The rest of the chart is grey.</p>

# 財務ハイライト

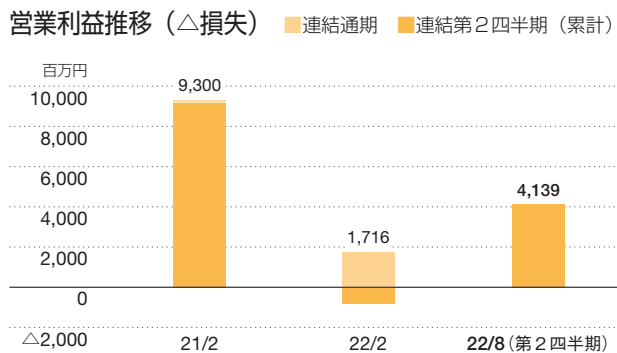
## 売上高推移



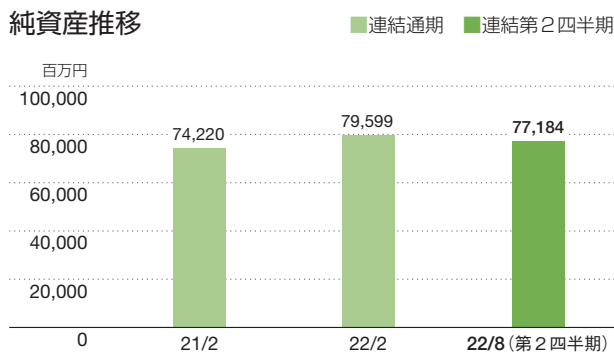
## 当期純利益推移 (△損失)



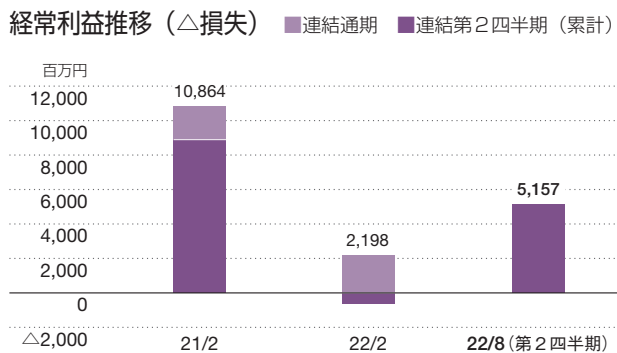
## 営業利益推移 (△損失)



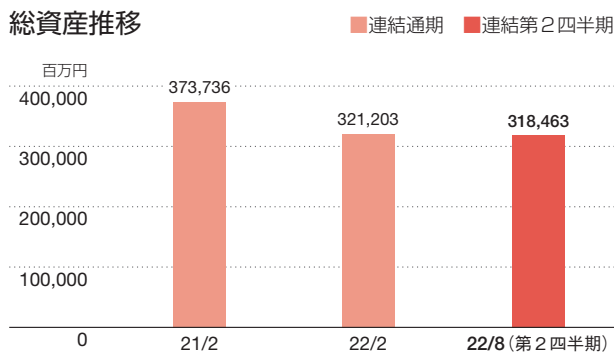
## 純資産推移



## 経常利益推移 (△損失)



## 総資産推移



# 四半期連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日現在)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	6,733	5,953
受取手形及び売掛金	147,333	144,976
商品及び製品	32,393	30,441
仕掛品	446	394
原材料及び貯蔵品	1,351	1,227
その他	7,444	8,058
貸倒引当金	△ 1,151	△ 1,242
流動資産合計	194,551	189,810
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	42,297	42,848
無形固定資産	1,382	1,613
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	64,714	72,088
その他	18,197	17,445
貸倒引当金	△ 2,681	△ 2,603
投資その他の資産合計	80,231	86,930
固定資産合計	123,911	131,393
資産合計	318,463	321,203

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日現在)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	94,411	98,263
1年内償還予定の社債	40	—
短期借入金	90,586	78,864
未払法人税等	1,242	303
賞与引当金	722	653
その他	5,205	5,747
流動負債合計	192,208	183,832
<b>固定負債</b>		
社債	140	—
長期借入金	29,345	35,861
繰延税金負債	14,456	17,250
退職給付引当金	2,051	1,974
役員退職慰労引当金	691	690
その他	2,386	1,995
固定負債合計	49,070	57,771
負債合計	241,279	241,603
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	41,184	38,783
自己株式	△ 657	△ 572
株主資本合計	57,453	55,137
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	15,789	20,322
繰延ヘッジ損益	△ 69	△ 0
為替換算調整勘定	△ 3,925	△ 3,412
評価・換算差額等合計	11,795	16,909
少数株主持分	7,935	7,552
純資産合計	77,184	79,599
負債純資産合計	318,463	321,203

## 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
	(平成22年3月1日から 平成22年8月31日まで)	(平成21年3月1日から 平成21年8月31日まで)
売上高	321,884	275,002
売上原価	300,824	258,585
売上総利益	21,060	16,416
販売費及び一般管理費	16,920	17,222
営業利益 (△損失)	4,139	△ 805
営業外収益		
受取利息	592	385
受取配当金	840	787
持分法による投資利益	186	52
その他	495	353
営業外収益合計	2,114	1,579
営業外費用		
支払利息	925	1,107
手形売却損	39	81
その他	130	181
営業外費用合計	1,096	1,370
経常利益 (△損失)	5,157	△ 596
特別利益		
固定資産売却益	3	2
投資有価証券売却益	18	18
貸倒引当金戻入額	100	218
退職給付制度終了益	—	102
その他	3	82
特別利益合計	125	423
特別損失		
固定資産処分損	19	38
減損損失	245	3
投資有価証券評価損	233	106
出資金評価損	4	42
関係会社株式評価損	—	1
その他	6	4
特別損失合計	509	197
税金等調整前四半期純利益 (△純損失)	4,774	△ 371
法人税、住民税及び事業税	1,376	867
法人税等調整額	297	△ 732
法人税等合計	1,673	135
少数株主利益 (△損失)	216	△ 181
四半期純利益 (△純損失)	2,884	△ 325

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
	(平成22年3月1日から 平成22年8月31日まで)	(平成21年3月1日から 平成21年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 589	15,799
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,107	△ 1,378
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,662	△ 15,810
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 284	242
現金及び現金同等物の増減額	681	△ 1,146
現金及び現金同等物の期首残高	5,850	7,520
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,531	6,373

## ホームページのご案内

岡谷鋼機のホームページでは、決算短信等の詳しい財務データや各種IR情報を掲載しています。是非一度ご覧ください。



・ 岡谷鋼機ホームページアドレス  
<http://www.okaya.co.jp/>

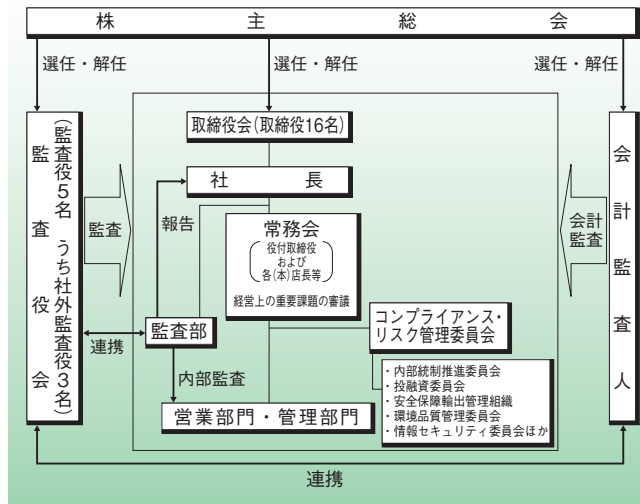
# 内部統制システムに関する基本的な考え方およびその整備状況

## 1. 基本的な考え方

企業としての社会的責任を自覚し、コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスおよびリスク管理を経営の重要な課題と位置付けており、課題達成のためのインフラとして内部統制システムを位置付け、継続的に充実・強化を図っております。

## 2. 整備状況（詳細は当社ホームページをご参照ください。 <http://www.okaya.co.jp/>）

- ① 取締役・使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
- ② 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制
- ③ 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- ④ 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
- ⑤ 当社および子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
- ⑥ 監査役の職務を補助すべき使用人に関する体制と当該使用人の取締役からの独立性に関する事項
- ⑦ 取締役および使用人が監査役に報告するための体制その他監査役への報告に関する体制および監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制



# 利益配分に関する基本方針および株主優待について

## 1. 配当政策

当社グループは、株主に対する利益還元を企業経営の重要政策の一つと考えており、競争力を維持・強化して株主資本の充実に努めつつ、配当を行うことを基本方針としております。

## 2. 株主優待

当第2四半期（2010年8月期）株主優待として、8月末所有株式数1,000株以上の株主様に、新潟県産《特別栽培米こしひかり5kg》をお贈りいたします。

また、2月末所有株式数500株以上の株主様に、新潟県産《特別栽培米こしひかり2kg》をお贈りしております。



# トピックス

## 1. チリ大地震被害への義援金寄付

2010年3月

2月27日にチリ共和国で発生した大規模地震による被災者の方々に対し、米国で事業を行う子会社5社と共に、総額約50万円の義援金を寄付しました。

## 2. 中国青海省地震被害への義援金寄付

2010年5月

4月14日に中国青海省で発生した大規模地震による被災者の方々に対し、中国で事業を行う子会社5社と共に、総額約50万円の義援金を寄付しました。

## 3. 上海洛庫高電子有限公司の営業開始

2010年6月

当社子会社の六合エレメック株式会社は、電気・電子機器を販売する100%子会社「上海洛庫高電子有限公司」を設立しました。

〈事業内容〉電気・電子機器の開発、簡易加工、販売、物流コンサルタント、輸出入、中継貿易

〈売上計画〉150百万円（2010年12月期）  
300百万円（2011年12月期）



上海洛庫高電子有限公司の入居ビル

## 4. 米国岡谷銅機株式会社本社を移転

2010年7月

米国岡谷銅機株式会社本社をニュージャージー州からシカゴに移転しました。新社屋にはシカゴ支店と倉庫兼配送センターが入り、管理部門、倉庫、配送機能を一本化して効率化を図ります。



米国岡谷銅機株式会社の新社屋

## 5. 「名古屋 蝶の飛ばまちプロジェクト」について

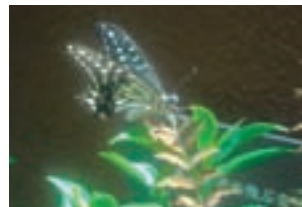
当社は、生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）パートナーシップ事業であります、「名古屋 蝶の飛ばまちプロジェクト」に賛同し、本社ビルの植込みに食草を植えるなどの協力をしています。

本事業は、都市の身近な生き物である蝶の種類や個体数を調べることで、蝶が住みやすい環境条件についての知見を得て、自然豊かなまちづくりに活かすことを目的としています。

調査期間は2012年11月までです。たくさんの蝶が飛んできてくれるのを楽しみにしています。



本社ビルの植込みに食草などを植えています。



ナミアゲハです。  
5月には卵が産みつけられていました。



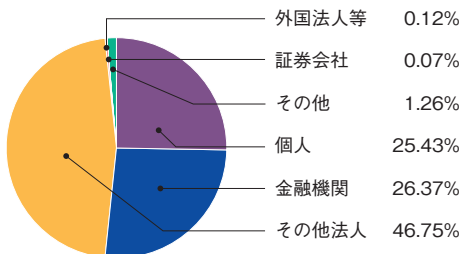
# 株式の状況 (平成22年8月31日現在)

## 株式の状況

株式数	
発行可能株式総数	177,856,000株
発行済株式の総数	48,944,480株
株主数	3,293名

## 株式分布状況

### 所有者別割合



## 大株主の状況

株主名	持株数 千株	持株比率 %
岡谷不動産株式会社	6,071	12.55
岡谷篤一	2,405	4.97
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,314	4.78
新日本製鐵株式会社	2,120	4.38
中央三井信託銀行株式会社	2,010	4.15
株式会社りそな銀行	1,327	2.74
日本興亜損害保険株式会社	1,085	2.24
岡谷鋼機社員持株会	804	1.66
オークマ株式会社	776	1.60
財団法人真照会	693	1.43

- (注) 1. 持株比率は自己株式(603,068株)を控除して計算しております。
2. 財団法人真照会は、将来社会に貢献し得る人材を育成し、併せて学術・技芸の振興を図るために必要な奨学援助をなすことを目的として、大正6年に創設された文部科学省管理下の「特定公益増進法人」であります。

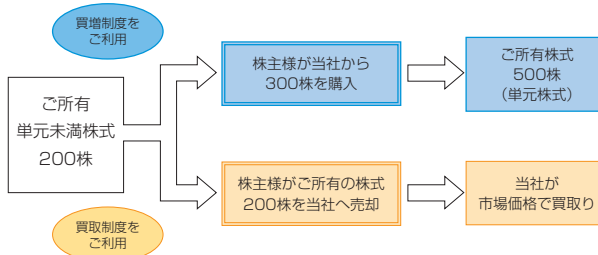
# 株式に関するお知らせ

## 単元未満株式の買取・買増請求について

当社の株式は1単元が500株となっており、単元未満株式(1~499株)については市場での売買はできませんが、当社に対して買取請求(売却)、または500株(1単元)となるよう買増請求(購入)をすることができます。お手続きの方法および用紙のご請求は、裏面記載の連絡先にお申し出ください。

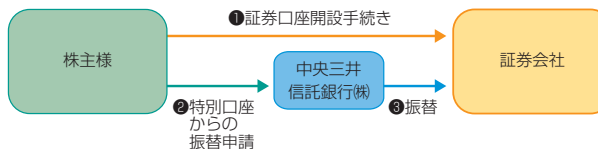
### 【単元未満株式買増・買取制度例】

○単元未満株式200株をご所有の株主様の場合



## 特別口座から証券会社の口座への振替申請について

特別口座\*に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式を除く)。さまざまなお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお勧めします。



※特別口座：  
株券電子化前にほふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった場合に、当該株式が記録される口座です。

## 株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで  
定時株主総会 5月  
配当金支払株主確定日 期末配当 2月末日  
中間配当 8月31日  
公告の方法 電子公告  
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

電子公告掲載ホームページアドレス

<http://www.okaya.co.jp/ir/pn/>

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 〒460-8685  
名古屋市中区栄三丁目15番33号  
中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部  
連絡先 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)  
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店および全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

### 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

証券会社の口座に記録された株式		特別口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
・単元未満株式の買取・買増請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	口座を開設されている証券会社	・単元未満株式の買取・買増請求 ・特別口座から証券口座への振替請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	中央三井信託銀行株式会社証券代行部
・郵送物の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	中央三井信託銀行株式会社証券代行部	・郵送物の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	

### 「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。  
なお、配当金領収証にて配当金をお受取の株主様につきましても、本年より配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。  
※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



岡谷鋼機株式会社